



岩手県議会議長

がんばってます!

# 佐々木順一

佐々木順一のプロフィール	
氏名	佐々木 順一
がな	ささき じゅんいち
生年月日	昭和27年1月29日(辰年、みずがめ座)
出身地	岩手県稗貫郡石鳥谷町新堀
最終学歴	昭和49年 東北学院大学法学部
現在の主な役職	岩手県議会議長 岩手県議会商工文教常任委員会委員
経歴	昭和49年 自由民主党岩手県支部連合会職員 平成5年 衆議院議員 小沢一郎秘書 // 7年 岩手県知事増田寛也政務秘書 // 11年 岩手県議会議員初当選(連続5期) // 19年 民主党岩手県総支部連合会幹事長(連続4期) // 24年 国民の生活が第一岩手県総支部連合会幹事長 // 25年 生活の党岩手県総支部連合会幹事長 // 28年 自由党岩手県総支部連合会幹事長 // 29年 岩手県議会議長

**今任期最後の定例会・  
六月定例会県議会が終了  
など全議案を可決**  
I・L・C推進局設置条例案

今任期最後の定例会は六月定例会県議会は、六月十九日に招集され、現在のI・L・C推進室をI・L・C推進局に格上げする岩手県部局等設置条例の一部を改正する条例案を含む条例議案13件、岩手県立福岡工業高等学校校舎改築事業費など請負締結議案6件、人事案(公安委員会、人事委員会の各委員の同意案)2件を含む議案26件などを7月3日の最終本会議で可決し十五日間にわたる会期を閉じました。今任期は九月十日までありますので、引き続き県議会議長としての職責を果たしてまいります。今回の

の県政報告書には、六月十一日、東北関係団体が一堂に会し行ったI・L・C実現に向けての合同要望の内容や令和元年度の地域経営推進費(県事業)のうち、花巻市関連事業一覧も掲載しましたのでご覧いただけます。



知事と議長は車の両輪!! 「希望郷いわて」を実現します。

# I-L-C実現へ連携確認

北海道・東北六県  
関係省庁に要望

北海道・東北六県議会議長会  
興財源確保、地域医療を  
回りで開かれており、本  
県での開催は2015年  
以来4年ぶりとなる。  
開催県を代表し本県の  
佐々木順一県議会議長は  
「地域の実情に沿いな  
ら、効果的な対策を進め  
ていくためには、議会と  
しても各道県が一層の連  
携を深めながら取り組ん  
でいく必要がある。今回  
の議案は、いずれも北海  
道、東北の発展にとって  
重要な課題なので、活発  
な議論をお願いしたい」  
と述べた。



I-L-C誘致実現などの議案を可決した北海道・東北六県議会議長会議で挨拶をする佐々木議長

担に対する基本的な考え  
方を明示すべき」などを  
盛り込んでいる。  
医師確保については、  
医師の絶対数の不足と地  
域偏在を解消するため、  
大学医学部定員増の恒久  
化などを求めている。  
また、東北I-L-C推進  
協議会が6月12日に省庁  
などへの要望を予定して  
いる「I-L-C日本誘致に  
関する東北関係者合同要  
望」への参加も了承し  
た。

岩手日報 元. 5. 30

## 両県議連が実現要望 自民党と超党派議連に



【東京支社】岩手、宮城  
両県議会の国際リニアコ  
ライダー（I-L-C）建設実現  
議連は18日、自民党と超党  
派のリニアコライダー国際  
研究所建設推進議連（会長  
・河村建夫衆院議員）に対  
し、国内誘致の早期実現を  
要望した。



本県の佐々木順一議長ら  
8人と宮城の佐藤光樹議長

自民党でI-L-C誘致の早期  
実現を要望する佐々木順一  
議長（左から3人目）ら

岩手日報 元. 4. 18

会長、塩谷立幹事長に要望  
書を手渡した。  
内容は「東北全体でI-L  
Cの受け入れ準備と効果の  
最大化に全力を挙げる。国  
家プロジェクトと位置付  
け、早期に日本誘致を表明  
してほしい」と求め、金田  
氏は「（党の）幹事長に伝  
える」と応じた。  
同日は文部科学省にも要  
望した。佐々木議長は「受  
け入れ準備をしっかりと進  
め、誘致効果を全国に情報  
発信していく」とし、佐藤  
議長は「岩手とさらに連携  
し、誘致活動を広げたい」  
と語った。

## 来年2月に県大会 早期解決へ外交後押し

北方領土返還要求運動  
岩手県民会議（会長・佐々木  
順一県議会議長）は17  
日、盛岡市内で通常総会  
を開き、2020年2月  
に久慈市で北方領土返還  
要求県大会を開催するこ  
となどを盛り込んだ今年  
度事業計画を決めた。  
佐々木会長は「北方領  
土問題の早期解決に向け  
国の外交交渉を積極的に  
後押しし、啓発活動にこ  
づかいには中学生ら3  
人、8月2、3日に根室  
市で開催される北方領土  
市で開催される北方領土  
還要求県大会を開催。併  
せて1月下旬から2月上  
旬にかけて北方領土に関  
するパネル展も開く。  
8月15、19日に国後島  
と色丹島を訪問する北方  
四島交流訪問事業には同  
会議の役員1人、9月  
4、5日に根室市で開催  
される北方領土ゼミナ  
ールには大学生2人の派遣  
を計画している。

岩手日報 元. 6. 18

## 北方領土返還要求運動岩手県民会議総会



今年度事業計画などを決めた北方領土返還要求運動県民会議の通常総会で挨拶をする佐々木議長



# I-LC実現に向けて 東北関係団体が合同要望

## 北海道・東北六県議長会長として出席

I-LC実現に向けた東北関係団体の合同要望は6月12日に東京都内で行われた。

参加団体は、東北I-LC推進協議会代表・高橋宏明東北経済連合会名誉会長、北海道東北地方知事会代表・達増拓也岩手県知事、岩手県I-LC推進協議会長・谷村邦久岩手県商工会議所連合会長、東北I-LC推進準備室長・鈴木厚人岩手県立大学学長、東北市長会代表・谷藤裕明盛岡市長、北海道・東北六県議長会長・佐々木順一岩手県議会議長の各団体。

午前7時半から都内ホテルで超党派によるリニアコライダー国際研究所建設推進議員連盟と自民党I-LC誘致実現連絡協議会幹部会の合同会議が開かれ、両団体を代表し河村健夫議連会長が「議連総会において、文科省を中心とした関係省庁、産業界、研究者、地域一体となつて進めていく方針を決めた。議連においても仏独とのディスカッショングループを作り進めていく。東北震災復興、日本の科学技術の力を発揮させるものとして国民理解を広げる方針で活動する」と挨拶、その後、各団体からそれぞれ要望書を手交した。

同要望会には国会議員27名が本人出席、関係省庁（文科省、内閣官房、内閣府、復興庁、外務省、経産省、国交省）からも事務方が参加した。

河村議連会長のコメントは下記の通り。

**河村議連会長**「世論の高まりも必要。このプロジェクトをキチンと位置づけるかどうかによって、日本の科学技術に対する一つのステータスを作り上げていくことになる。科学技術分野の国際プロジェクトであるという意識を持ってもらうために、文科省には頑張ってもらいたい。力を合わせ実現に向けて頑張っていきたいと思います」



木戸口参議院議員

鈴木大臣

河村議連会長

達増知事

佐々木順一議長

谷藤盛岡市長

# 首相官邸で官房長官に要望書を手交

終了後、四団体関係者は首相官邸および各省を訪問し、菅官房長官、安藤復興大臣政務官、森国土交通事務次官、磯谷文科省研究振興局長にそれぞれ要望した。

主要人のコメントは次の通り。

**菅官房長官**「さまざまに厳しい状況ではあるが、皆さんの気持ちを受け止めたい」（議連の河村会長、塩谷同幹事長、鈴木俊一同副会長も要望者側に同席）

**安藤復興大臣政務官**「I-LCは東北の復興の期間的なプロジェクトにもなり得る。日本が世界をリードする研究としても大きな意義があると認識している」

**森国土交通事務次官**「I-LCの議論については国交省が中心とはなりにくい。技術の進歩に関しては支援することは可能。大学の先生や地方自治体、議会が一致団結した動きはしっかりと受け止めてサポートしていきたい」

**磯谷文科省研究振興局長**「皆様の意向をしっかりと受け止め、文科省としても検討していく」

I-LC実現に向け東北関係団体が一堂に会し合同で要望を行ったのは今回が初めてである。「東北は一つ」という好印象を与えたことは間違いない。一年以内にも行われる政府の判断が注目される。



佐々木順一議長

菅官房長官

宮城県議会副議長

# 令和元年度 地域経営推進費（県事業）花巻市関連事業一覧

新規/継続	事業名	事業内容	事業実施主体	事業費(円)	花巻市との関連	写真等
新規	平泉・南いわて周遊観光推進事業	体験コンテンツ情報の発信、平泉世界遺産周知広報、外国人観光客災害時の情報ツール作成	経営企画部	6,216,000	花巻・遠野・金石地域と連携したSL銀河運行支援 外国人観光客向けの受入れ体制整備など	
新規	国際LINEアコライダー受入環境整備事業	医療通訳者養成研修会の開催、ILCセミナーの開催ほか	経営企画部	3,788,000	管内(県南エリア、以下同)の医療通訳者養成研修会の開催 管内のILCの機運醸成	A
新規	南いわて関係人口構築事業	首都圏や仙台圏での相談会等若手ファンの拡大、関係人口と地域課題のマッチング、移住受入体制整備のための情報交換会など	経営企画部	2,227,000	首都圏や仙台での管内の移住・定住セミナーの開催	
新規	文化芸術による県南地域活性化支援事業	若者たちによる文化芸術活動の祭典、ボランティアガイドスキルアップ研修会開催	経営企画部	3,342,000	管内の若者が中心の民俗芸能団体等が出演するイベントの開催	
継続	スポーツによる地域連携推進事業	スポーツアクティビティの魅力発信 県南広域圏マラソン連携事業の開催	経営企画部	3,017,000	管内のマラソン大会をつなぐ「県南レジェンドランナーズ10」の実施(花巻マラソンも対象事業)	B
新規	県南広域圏産業人材確保・育成等支援事業	学校と企業との交流機会の拡大 アドバイザー派遣による企業の人材育成支援	経営企画部	4,897,000	管内小中高校等を対象とした企業見学やガイダンスの開催 管内企業を対象とした採用力向上等のための勉強会の開催	
継続	食産業業務課題別研究会運営事業	食品輸出に取り組む事業者の拡大支援、オンラインチャンネルを活用した取引拡大の支援	経営企画部	1,104,000	管内企業を対象とした国際物流に関するセミナーの開催 管内企業を対象としたオンラインチャンネルを活用した取引拡大への支援	
新規	健康づくりのための環境整備促進事業	普及啓発、モデル事業所への集中的支援ほか	保健福祉環境部	2,387,000	管内事業所等を対象とした研修会や出前講座の開催 管内学校や保育園を対象とした出前講座や運動講座の実施	
新規	HACCP導入実証事業	HACCP導入実証事業、セミナー・ワークショップを通じた普及啓発	保健福祉環境部	821,000	管内の食品取扱事業者等を対象としたセミナーの開催 管内の食品安全サポーターや食品衛生指導員を対象としたHACCPワークショップの開催	
新規	県南地域動物愛護普及促進事業「県南ねこ会議」	動物愛護にかかるシンポジウムの開催、猫の譲渡の推進、動物愛護団体の育成ほか	保健福祉環境部	432,000	動物愛護にかかるシンポジウムの開催 動物愛護団体の育成のための先進地視察と伝達講習	
継続	福祉職人材確保促進事業	中学生、高校生を対象とした介護職や保育職の進路選択セミナーの実施	保健福祉環境部	476,000	管内の施設と連携した介護職・保育職・福祉職進路選択セミナーの開催	
継続	野生鳥獣の被害対策支援事業	クマ市街地等出没状況調査と防除対策の検証 新規ハンター養成研修会の開催	保健福祉環境部	875,000	新規ハンター養成講習会の開催	
新規	いわてオリジナル水稲新品種「金色の風」・「銀河のしずく」ブランド定着事業	現地栽培研修会等の開催 「金色の風」「銀河のしずく」新米キャンペーンの実施	農政部	4,259,000	銀河のしずくの生産指導、レストランキャンペーンなどPRの実施	C
新規	県南地域企業経営体育成支援事業	企業経営体育成候補者の掘り起こし、都市部からのU・Iターン就職希望者の確保	農政部	1,538,000	企業経営体育成候補者の掘り起こしにかかるセミナー開催 県農大生を対象としたオープンファームの開催支援	
新規	県南地域新たな園芸産地創造・発展支援事業	園芸生産の団地化に向けた意識醸成支援 大規模園芸経営体の育成、労働者の安定確保	農政部	1,173,000	大規模園芸経営体の育成のためのマネジメント力向上研修の開催 アスバラガス生産量拡大に向けた現地での実証等	
継続	県南酪農肉牛産地振興対策事業	乳牛の生産性の改善対策、担い手の経営規模拡大支援、外部支援組織の活用・強化	農政部	2,063,000	酪農及び肉用牛の生産性向上支援	
新規	いわて県南スマート農業加速化事業	スマート農業技術の普及に向けた実証・展示、現地研修会の開催	農政部	3,133,000	ミニトマト多収化モデルの現地検討会の開催	
継続	県南地域農福連携促進事業	相互理解のための研修会の開催 マッチング支援	農政部・保健福祉環境部	425,000	農福連携にかかる普及啓発やマッチング支援	
継続	県南広域原木しいたけブランド力再興支援事業	しいたけメニューキャンペーンの実施、地域内しいたけ原木供給可能性調査等	林務部	2,314,000	原木しいたけブランド化のためのしいたけのレストランキャンペーンの実施	
新規	林業担い手確保・育成支援事業	林業実務実践スキルアップ講座の開催 就業希望者及び教職員等を対象とした未来森林体験講座の開催	林務部	973,000	森林・林業を紹介するPR動画の製作 管内林業事業者を対象としたスキルアップ研修等の開催	
継続	森林資源循環利用促進事業	低コスト造林研修会や広葉樹原木選木研修会開催、県南広域木材供給連絡会議等の開催	林務部	638,000	管内林業事業者を対象とした低コスト造林研修会の開催 ナラ枯れ防止のための普及啓発	
継続	街に木遣いプロジェクト	商業施設への木材利用促進、イベント出店用屋台による木材利用のPR	林務部	690,000	県産材を利用した木製屋台による木材利用のPR	D
継続	県南地域建設業イメージアップ事業	「小学生等の現場見学会」の実施 動画活用によるPR イメージアップカレンダーの作成	土木部	630,000	いわて県南建設業イメージアップカレンダーの作成	E



地域経営推進費とは

広域振興局が市町村やNPO・民間団体等との協働により、それぞれの広域振興圏における産業振興や安全・安心な地域社会の構築等を目指し実施する事業のほか、市町村や市町村長が必要と認める団体が圏域の課題解決に向けて取り組む事業に対して補助する県の事業予算

IWATE PREFECTURAL ASSEMBLY MEMBER

岩手県議会議員

さ さ き じゅん いち

佐々木 順一



佐々木順一  
がんばってます!

「約束は守る」それが政治だ!

活動内容を、  
佐々木順一日記に  
書いてあります。  
アクセスして  
みて下さい。



HOME

私のマニフェスト

県議会における主な発言

プロフィール

事務所

メール

<http://www.sasaki-junichi.jp/>